

KIBICHUOCHO TEJU GUIDE

せんたく日和

選ぶ、輝く、自分らしく。

晴れの国のまんなか
岡山県吉備中央町

降水量1ミリ未満の日が

日本一多い

「晴れの国おかやま」の

中央部にあります。

「吉備中央町」は、





ご主人は、ギター教室を開業。ここではめいっぱい、ギターをかき鳴らすことができる。都市部ではなかなかこうはいかない。古民家をDIYでリフォームしたカラフルな教室は、ダイオウさんのギターの色と子ども笑顔が絶えない。



音楽と大自然が、 強く優しく共鳴し合う、 ミュージシャン夫婦の 豊かな子育て生活。

吉岡紀子さんは、京都出身のソウルミュージシャン。

大阪を拠点に活動後、2010年からは東京に移り、子どもの頃の愛称だった「PAL」の名に回帰。「Love is Life〜ねえママ、ねえパパ〜」「Life is Beautiful」などの曲を発表。自分や身近な人の人生に、まっすぐ向き合う彼女の作品は、どれも強く優しく胸を打つ。

今こそ、ギターリストのご主人、ダイオウさん、一年前に授かった長男の光生君と、見晴らしのいい吉備高原の山の麓で素敵な暮らしを送っているが、ここに至るまで、いろいろな紆余曲折があったという。

「東京では、どうしても売れることが一番に求められるんです。

都会的な生活を楽しめた時期もあったけど、そのうち、自分が歌いたい歌がわからなくなってきた。いつしか、苦しい毎日が続くようになりました。」

そんなある日、ふらっと立ち寄った本屋で、一冊の本と出会う。

少年院に服役する少年たちの詩を綴った

その頃友人をたずねて訪れた自然の多い岡山が気に入って、移住を考え始める。吉備中央町に問い合わせたところ、定住促進課の課長さんが町を案内してくれた。

「私たちふたりだけのために、課長さんご本人が、まる一日をかけて案内してくれました。その時の対応がとても親切で、何より熱かった。そこに惹かれましたね。」

まずは、お試し住宅から始めた。家具一式が揃い、身ひとつでスタートできた。「これで月1万円はありがたかったですね。ここまで格安で実施している町はそう多くないと思います。まもなく妊娠して、結局はここで出産まで体験しました。近所のみなさんのサポートも温かかったです。」

1年間の、お試し住宅暮らしを経て、最後はNPO法人いまこの紹介で、眺めがいい住まいが見つかり、晴れて吉備中央町の住民となった。

ものだった。両親が離婚した幼少の記憶と重なり、涙が止まらなくなったという。

「突然、身体に電気が走って、気づいたんです。私には、歌いたい歌があるじゃないかと。」

できた曲が、「Love is Life〜ねえママ、ねえパパ〜」でした。父と母に捧げたこの曲を、少年たちの前で歌いたいと思いました。

その歌が、それを必要とする人に届き、何かしら救われたり、笑顔になったり。私はそれで満足だ、って気づいたんです。」

アルバムを自主で制作することにした。そこへギターとして参加したのがダイオウさんだ。

「本当に必要なものがわかるようになり、厚化粧をやめ、アクセサリーを外し、どんどんシンプルになりました。お金に対する価値観も変わりました。気持ちよかったです。」

そして、ふと今いる場所を見たとき、東京は私が暮らすべき場所じゃないよな、そう感じたんです。」

「ふたりとも自由業。生活スタイルは変えたくないし、子育てにも専念したい。それが都会だとなかなか難しい。でもここでその生活がなくなりました。」

いきなり田舎に行ってしまうって、夢をあきらめてんなあ、って昔の仲間から言われることもある。

「全然そうじゃない、夢があつて来たんです。毎日倒れるまで頑張っている田舎に興味がない人にこそ、ここでの生活がひとつの選択肢になるよって、伝えたいですね。」

吉備中央町で生まれた新しいメッセージが、美しい自然と共鳴し、歌に乗って日本中へ広がるのもそう遠くないことだろう。

参考「空が青いから白をえらんだのです」

―奈良少年刑務所詩集―(新潮文庫)

せんだく日和 My Choice

音楽。子育て。起業。

吉岡 大雄さん(47)
紀子さん(38)
大阪府・京都府
吉備中央町田土
Iターン





できるだけ自由にさせているという孫たちが、庭と家の間を裸足で行き来できる設計に。手入れを怠らなければ孫の代まで持つという、オール木造のログハウスは、周囲でもひと際目立っていた。

遊び心あふれる高原都市のログハウスで、背伸びをしないう、都会的カントリーライフ。

始業の1時間前には職場に入る東京での生活を全うし、定年まで勤めあげた石井さん。ひとつ前の駅で降り、わざわざ公園を通って出勤していたほど、恋い焦がれていた緑多き暮らし、その舞台に選んだのは「吉備高原都市」だ。

岡山市内から40分、空港からはわずか20分ほど。なだらかに続く山々を車で越え、と、突如として現れる新しい街。新宿区に匹敵するエリアに、保健・福祉・文化・教育機関が集まる。

奥さんの譲れない条件だった下水道が整備され、医療機関に銀行、スーパーやコンビニも徒歩圏内のうえ、大自然は手を伸ばせばすぐそこ。息子夫婦のもとを離れ、この夏を一緒に過ごしているという、3人の孫たちに囲まれ、笑い声が絶えない。

「無電柱だから視界に飛び込んでくるのは、青い空と緑の山々ばかり。住んで半年ほどですが、ご近所さんだけでなく、通りで顔を合わすだけの方も、笑顔で挨拶を交わすこの街は、自然だけでなく、人と人の距離感も、とても心地いいですよ。」

175坪の敷地内にある石井ご夫妻の住まいは、長い間心の中に温めてきたログハウス。家の中まで赤松の香りで満たされて



秋になれば、中四国のクロスポイント、岡山の真ん中にある吉備高原の高い利便性を活かし、気ままな車の旅へ出かける予定だそう。

「ありふれた観光地だったら通り過ぎ、気に入れば留まる。時間をせたくに使う自由気ままな旅を試みたかったです。戻ってきたら、趣味の模型作りや、DIYでテーブルや椅子の木工にもゆとり取り組みたいです。妻は家庭菜園、なかでも地域の特産品、ブルーベリーの栽培を始めたみたいです。」

これ以上ない形で悠々自適な定年後の人生を手にした石井さんご夫妻は、話を終えたあと、ちよと近くで開催していた郷土祭り「鬼伝祭」へと、孫たちと手を繋ぎ、急ぎ歩いて出かけて行った。



定年後の理想の暮らし。ログハウス。利便性。

石井さんご夫妻
東京都狛江市
吉備高原都市
Iターン



My Choice **せんたく日和**
子育て。ノマドな仕事スタイル。家庭菜園。

3人の子どもを育てながら、定住と移動仕事を両立させる、ユニークで新しいライフスタイル。

ブーヴィエ
レミ ユキオさん(37)
桂さん(39)
東京都町田市
吉備中央町上竹
Iターン



映像作家・モデルとして、今も東京で活躍中のブーヴィエ・レミ・ユキオさん。フランスとのハーフ。奥さんと結婚後、3人の子にも恵まれた。なぜ、仕事も家庭もあつた東京から、遠く離れた岡山の中山間地へ移住して来たのだろうか。

「CM制作会社で働いていましたが、あまり家に帰れず、子どもたちと触れ合う時間も欲しかったし、状況を変えたかった。」

奥さんのおなかに3番目の子どもが宿ったのをきっかけに、会社を辞めて、フリーランスに。

「旧友に会いにふらつと吉備中央町に来ました。ちょっと一日のつもりが、楽しくてしばらく帰れなくなりました。それまで田舎暮らしを知らなかった。こういう生活スタイルもあるんだなあって。17年も東京にいて、刺激が刺激でなくなっていたのかも。逆に、今は田舎が刺激的。空が違う。夕陽や星がきれい。雲海も出る。子どもたちにもいいし。移住を即決しました。」

しかし、東京を離れたら、仕事に支障はないのだろうか？

「映像作家としての環境は、むしろこちらの方がいいです。イメージが広がるし、

いから東京まであつという間だし、岡山から飛んで来たという、面白がつくれるクライアントも多いです。」

さらに自然や風土も、気に入っている。「抜群に光がいい。バキツとしての。山の緑も、田んぼもきれいです。穏やかな棚田も広がっていて、日本昔話の世界のようです。夏は涼しいし、雪がそこまで積もらない。自然がそれほど過酷じゃないのいいです。プッポウソウがここに飛んでくるのも、そんな理由からかもしれませんね。」

震災後、岡山は移住者が増えている。全 国人気ランキングでも常に上位だ。

「移住者には、就農した方の他にもいろんな人がいますよ。ミュージシャン、芸術家、陶工職人、小商い屋さんとか。個人が出店しやすいマルシェ文化も盛んです。カナタからもふたりが移住していて、まさかフランス語を、ここでこんなに話すなんて思ってもみなかったですよ。それぞれがユニークなスタイルで生きていますね。」

かつて吉備中央町には、開拓民が多くやってきたというが、彼らもまた、新しいライフスタイルを切り開いていく、パイオニアなのかもしれない。

家庭菜園が趣味という奥さん。子どもたちが、とてもイキイキしてきたそう。「子どもがよく外で遊ぶように。カブトムシさえ触れなかったのに、今ではトカゲやカエルも平気みたい。保育園の待機児童がゼロって、今ドキ凄いです。」



たまに出かける

My Choice!

豊かに暮らす

買い物

暮らしに寄り添う市場から、大型ショッピングモールまで

スーパーやコンビニ、ホームセンターなどの商業施設、地元の新鮮野菜など特産品が購入できる道の駅、農産物直売所があるので、普段の生活に必要なものはほとんど町内で揃います。

周辺の都市には、イオンモール岡山や三井アウトレットパーク倉敷など、大型商業施設があるので、週末には家族で買い物や外食など、今すぐにやりたいことができても、ドライブついでに気軽に出かけられる距離感です。また、家族で楽しめるレジャー施設も多彩です。

- イオンモール岡山まで 約50分
- イオンモール倉敷まで 約50分
- 三井アウトレットパーク倉敷まで 約50分

近隣市町の

- 大型商業施設
- 子どもの遊び場



交通

便利で快適な道路・交通網に、空路で抜群の広域アクセス

吉備中央町には、鉄道がありません。交通手段の中心は自家用車で、周辺の主要な町へは約40分ほどで出かけられます。都市圏にお住まいの方にとっては、遠い気がするかもしれませんが、道路はきれいに整備されており、交通渋滞もほとんどないので、自然の中をドライブ気分でき持ち良く運転することができます。

JR岡山駅には、在来線（6路線）が乗り入れするほか、全ての新幹線が停車します。また、無料駐車場があり、欠航の少ない岡山空港からは、国内・国際線（計6路線）が就航しており、主要都市へのアクセスが良く、帰省やお休みを利用した旅行などにも便利です。吉備中央町は、関東圏から遠い気がしますが、約2時間で都市部へ到着できると考えれば、意外と近い気がしませんか？

自然環境

安心・安全で暮らしやすい、豊かな気候風土

「吉備中央町」は、降水量1mm未満の日が日本一多い「晴れの国おかやま」の中央部、標高200m～500mの高原地帯にあり、温暖な気候の県南部よりやや涼しい気候です。町内には活断層がないため、地震の少ない岡山県の中でも直下型地震の発生する可能性が低く、安心・安全で暮らしやすい環境から、移住先として注目されています。

町内の風土はさまざま、日本の原風景を残す里山、豊かな自然と都市の利便性をあわせもつ吉備高原都市など、ご自身やご家族が理想とするライフスタイルが選べます。

農業・産業

さまざまな農・産業に、選べる仕事スタイル

自然豊かな吉備中央町では、稲作を中心にピオーネ、ブルーベリー、白菜、自然薯など地域の特性を活かした農業が盛んで、本格的にピオーネ栽培をしたい方向けの農業実務研修制度もあります。

商業では、災害が少なく安定操業が見込まれるため、自動車部品工場や食品の製造工場などの事業所が操業しています。また、車でのアクセスがよいので、町内にない職種を希望される方は岡山市内など都市部へ通勤することも可能です。

移住にあたって、通勤は都市部へ、休日は家庭菜園など、自然とともに暮らす魅力ある選択肢が多くあります。

子育て

出産から子育てまで応援、待機児童はゼロ！

子どもは地域の宝物として、「吉備中央町子育て応援宣言」を行い、町をあげ安心して子育てができるように取り組んでいます。例えば、医療費の無料化（満18歳以後3月31日まで）や出産祝金、保育料の減免、高校生バス通学費補助など様々な支援を提供しています。さらに、保育園の待機児童はゼロを誇ります。

町ぐるみの充実した支援策と豊かな自然環境は子育て世帯にとって魅力の一つではないでしょうか？



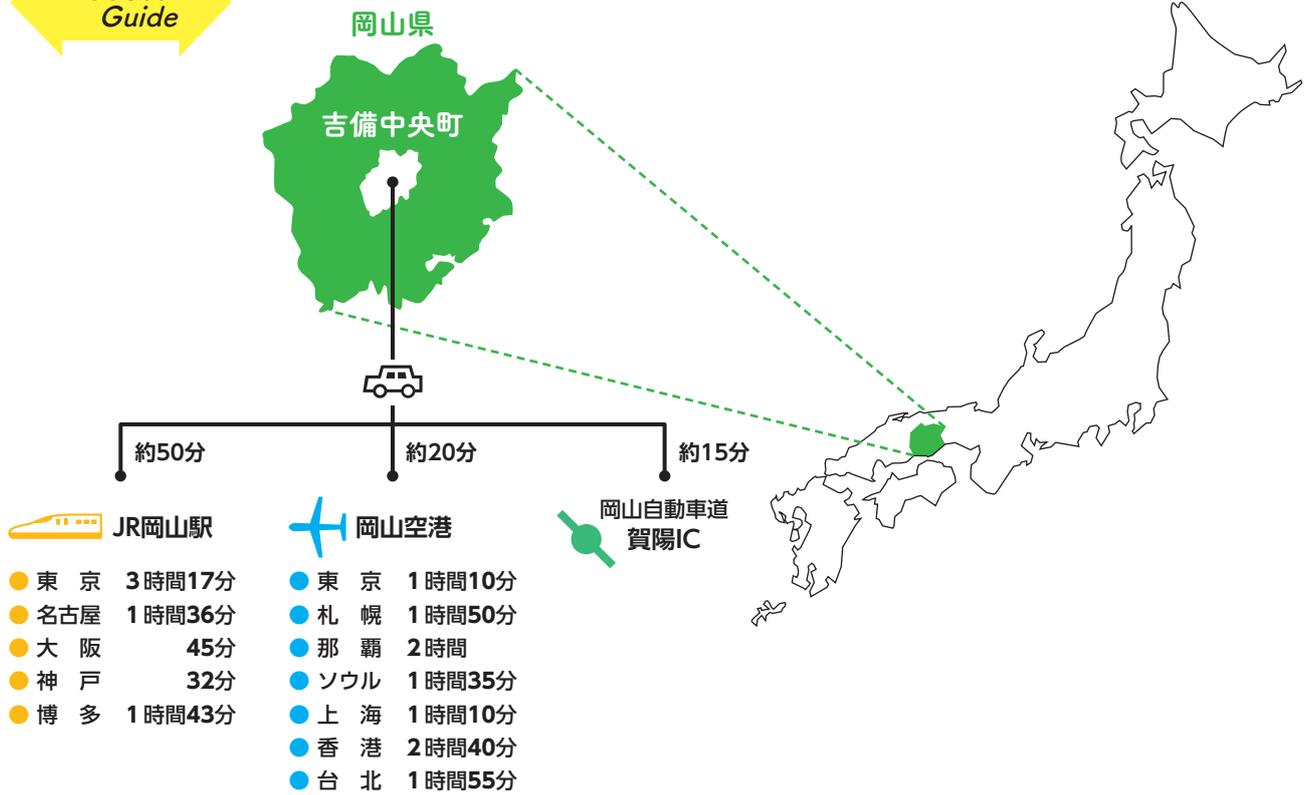
A 天文台から見た草原

B 鳴滝

C 豊野地区の棚田

D 大平山の夕日

Access Guide



発行 吉備中央町定住促進課

〒709-2398 岡山県加賀郡吉備中央町下加茂1073-1
TEL (0867)34-1116 FAX (0867)34-0401
2016年10月発行